

令和6年3月7日

保護者の皆様

## 令和5年度 学校評価結果報告

県立串木野特別支援学校

陽春の候、皆様におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、2学期に実施いたしました令和5年度学校評価につきまして、御協力をいただき、感謝申し上げます。職員、保護者、児童生徒のアンケート結果をまとめましたので御報告いたします。

なお、集計結果の詳細については、本校のホームページに掲載します(3月14日を予定)ので御覧ください。

### 1 回収状況について

#### (1) 職員

小, 中, 高, 寄宿舍, 事務職員を対象に行い、回収率は100%でした。

#### (2) 保護者

昨年度は、校務支援システム「See-Smile」を使って実施し、回収率が45.4%だったことから、今年度はGoogleフォームでアンケートを実施いたしました。また、紙面での回答も可能としたり、安心安全メールを使って2回お知らせをしたりすることで、7割以上(76.1%)の回答を得ることができました。学校評価アンケートの回答への御協力ありがとうございました。

#### (3) 児童生徒

昨年度と同様、質問項目の内容により一部回答も可能としたり、職員が読み上げて児童生徒が記入、選択したりする方法を取ることで、児童生徒在籍数238人中134人の回答を得ることができました。

### 2 まとめ

#### 【評価基準】

職員 … 4:十分達成 3:おおむね達成 2:やや不十分 1:不十分  
保護者… 4:あてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない  
1:あてはまらない 0:わからない

#### 【課題のとらえ方】

##### [職員]

「4:十分達成」「3:おおむね達成」の合計が80%を下回る項目を課題としてとらえる。

##### [保護者]

「4:あてはまる」「3:ややあてはまる」の合計が80%を下回る項目を課題としてとらえる。

## (1) はじめに

今年度、5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、社会生活や学校生活の様々なところで、コロナ禍前の対応に戻りつつあったため、職員や保護者のアンケート項目の見直しを行いました。また、職員については、人権教育の項目において、人権意識を今まで以上に高めるために、表記を見直しました。

結果の分析や考察については、学校経営方針の五つの努力点「確かな学力の育成」、「豊かな心と健やかな体の育成」、「安心・安全な教育環境の整備」、「進路指導の充実・他機関との連携」、「信頼される学校づくり」を基に行いました。

## (2) 成果と課題

職員による自己評価、保護者評価、児童生徒評価ともに、「4」、「3」の合計が80%を下回った項目はありませんでしたが、よりよい学校づくりのために何が必要なのかを考え、以下のように成果や課題をまとめました。

### 【確かな学力の育成】

職員の評価では、「指導における障害の重度重複化・多様化に応じた工夫」、「テーマ研修における職員の研修意識の向上と授業力向上の効果的な取組」について高い評価を得ました。一方で、「教育課程の編成や指導計画の作成」、「個別の指導計画に基づいた授業づくり」についてが低い評価でした。また、保護者評価では、「児童生徒が主体的に取り組むことができる授業の工夫」についての評価が低かったり、学習面での取組に対する要望や意見が多かったです。この結果から、各学部が連携しながら小中高の一貫性・系統性を意識した教育課程の編成を行うとともに、教育相談等を通して目標や評価をしっかりと説明したり、連絡帳で日頃から児童生徒の学習の様子等を伝えたりするなど、家庭との丁寧な連携や関わりに取り組んでいきます。

### 【豊かな心と健やかな体の育成】

職員の評価では、「指導及び支援において、人権教育の徹底」について、「やや不十分」が11%でした。また、保護者評価や児童生徒評価の自由記述に、職員の児童生徒への対応や発言に対する記述が複数ありました。この結果を真摯に受け止め、人権教育の研修等を通して職員の人権意識の向上を図るとともに、職員同士がお互いに言葉を掛け合えたり、注意したりできる雰囲気作りや環境作りに努めていきます。

### 【安心・安全な教育環境の整備】

職員の評価、保護者評価では、「児童生徒の健康状態の把握、健康管理、感染症対策としての手洗い、うがい等の積極的な取組」において高い評価でした。コロナ対応が5類になったものの、職員、保護者の感染症対策への意識の高さ、児童生徒を含めた実践が結果につながったものと考え、今後も継続して取り組んでいきます。

一方で、職員の評価、保護者評価、児童生徒評価において、校内施設設備等環境面について（特に老朽化に対する記述）、多くありました。学校でもできる限りの対応はしていますが、学校だけで対応することが難しい面もあり、並行して県への要望も挙げているところです。また、児童生徒の安全を守るために、職員的安全意識の向上を図り、日頃の安全点検、管理をしっかりと行っていきます。

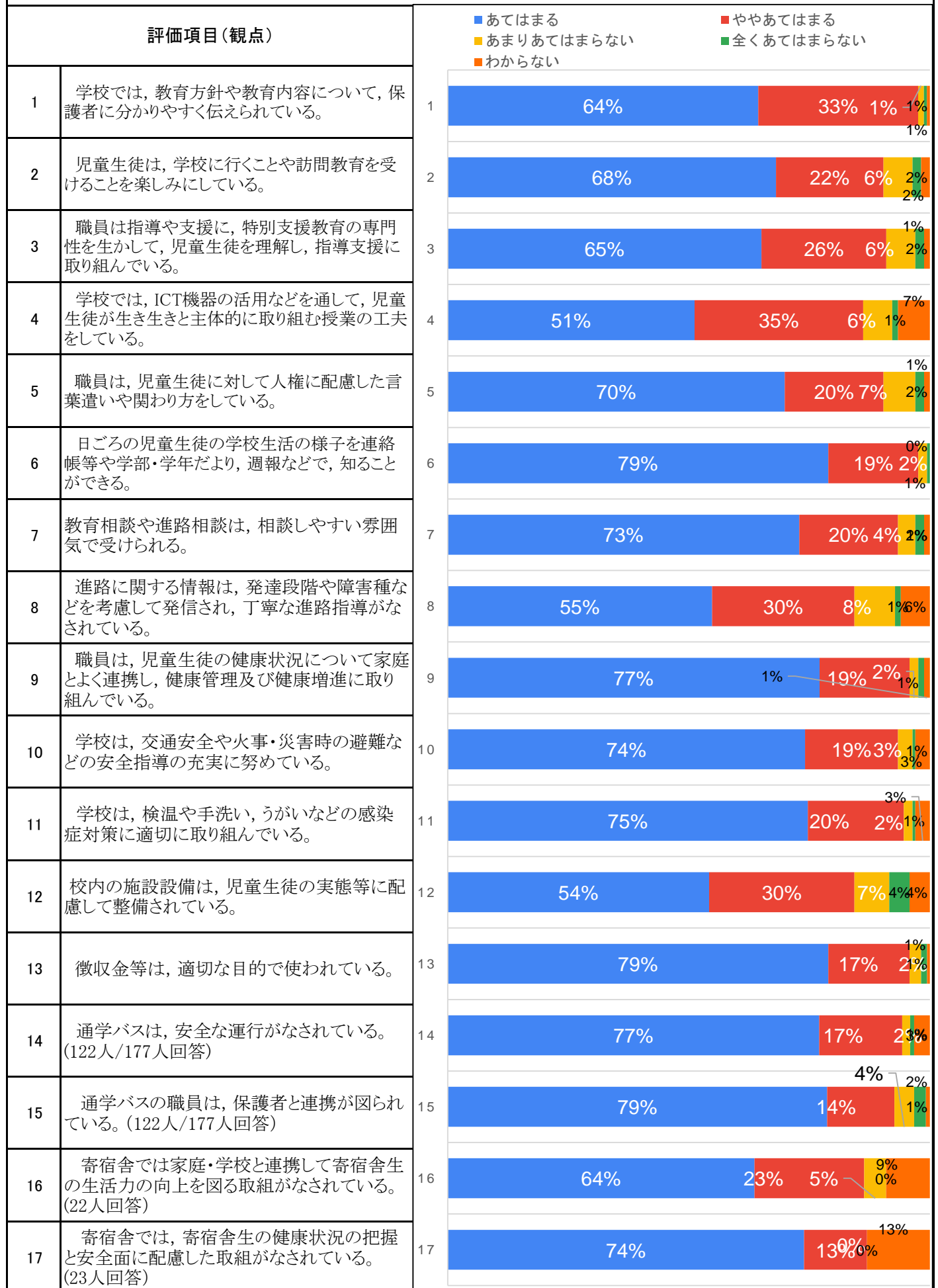
# 令和5年度 学校評価集計結果(全職員)

自分自身の取組状況ではなく、組織体としての学校教育活動の状況について評価する。  
 評価基準《 4:十分達成 3:おおむね達成 2:やや不十分 1:不十分 》 評価欄に記入

評価項目(観点) 昨年度の学校評価の反省を参考にした今年度の重点項目		■ 4 : 十分達成 ■ 3 : おおむね達成 ■ 2 : やや不十分 ■ 1 : 不十分			
I 教育課程・学習指導	1	学校は、小中高一貫性・系統性のある教育課程の編成と学習指導要領を踏まえた指導計画の作成がなされているか。	11%	83%	6%
	2	学校は、個別の指導計画に基づき、PDCAサイクルを意識した授業が行われているか。	15%	80%	6%
	3	学校は、指導において障害の重度重複化・多様化に応じた工夫（自立活動の充実やICTの活用）を行っているか。	32%	62%	6%
	4	学校は、指導及び支援において、人権教育の意識が徹底されているか。	19%	70%	11%
	5	学校は、食育の推進において、全体計画を活用した食に関する指導が行われているか。	25%	70%	6%
II 研修	6	学校は、テーマ研修において、職員の研修意識の向上と授業力向上に効果的な取組を行っているか。	35%	63%	0%
	7	学校は、現職研修において、教員の資質向上に効果的な取組が図られているか。	22%	73%	6%
III 指生 導徒	8	学校は、いじめや不登校、問題行動に対し、未然の予防、早期発見、適切で早期の対応が図られているか。	20%	73%	7%
IV 指進 導路	9	学校は、小学部段階からのキャリア教育を推進し、発達段階に応じた進路指導が図られているか。	11%	78%	11%
V 保健 安全 指導 ・ 管理	10	学校は、保健指導、健康の保持増進（肥満防止・虫歯予防の徹底等）に当たって、学校医や関係機関等と連携が図られているか。	30%	68%	0%
	11	学校は、医療的ケアについて、機器の整備がなされ、看護師や保護者と連携が適切に図られているか。	32%	64%	0%
	12	学校は、安全指導において、防災計画等の危機管理体制、危険箇所の点検・修理などが適切に図られているか。	25%	64%	10%
	13	学校は、児童生徒の健康状態を十分に把握し、感染症対策として、手洗い、うがい等の積極的な取組を行っているか。	48%	51%	0%
	14	学校は、施設・設備等の安全対策において、ヒヤリハット報告の活用が効果的に図られているか。	29%	65%	6%
VI 的 セ ン 能 タ ー	15	学校は、巡回相談や学校見学会などにおいて、幼保、小、中、高等学校への適切な支援活動を行ったり、地域のニーズに応えたりすることができているか。	39%	61%	0%
	16	学校は、「個別的教育支援計画」について、引継ぎ会やケース会議などで効果的な活用が図られているか。	27%	64%	9%
VII 教 育 宿 舎	17	学校は、寄宿舎教育の充実について、各学部との相互連携を効果的に図ることができているか。	22%	73%	6%
VIII 改 業 善 務	18	学校は、会議の効率化や各種システム等の整備が図られ、職員個々が計画的に時間を有効活用することができるように工夫がなされているか。	18%	68%	14%
IX 律 服 務 規	19	学校は、信頼される教職員・学校であるために、月毎の勤務時間表や県配付のハンドブックを活用し振り返りを行い、改善に活かすことができているか。	13%	71%	16%

## 令和5年度 学校評価集計結果(保護者)

評価基準《 4:あてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:全くあてはまらない  
0:わからない 》



## 令和5年度 学校評価集計結果(児童生徒)

評価基準《 3:はい 2:まあまあ 1:いいえ 》

評価項目(観点) 昨年度の学校評価の反省を参考にした今年度の重点項目

